



# 伊豆の国市【静岡県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成26年3月 ■ 人口：49,156人 ■ 面積：95km<sup>2</sup>  
■ 担当課：伊豆の国市 教育委員会文化財課（平成30年3月現在）



伊豆の国市には、北条氏邸跡(円成寺跡)や韮山反射炉など、6つの国指定史跡をはじめとする様々な歴史文化資源を有している。これら重層的に存在する歴史文化資源は、日本の歴史の転換点となるできごとと深く関わるものである。本構想では、歴史の流れと自然環境を軸に6つの関連文化財群を定め、それに基づいて3つの重点区域と4つの促進区域を設定している。

## 5 歴史文化を表す つのキーワード

源頼朝、北条早雲、江川英龍、  
武士の世の始まり、近代産業への飛躍

### 課題

- ・ 中心となる施設の整備
- ・ 調査研究の推進
- ・ 温泉やその他観光との連携
- ・ 体制整備と人材の確保

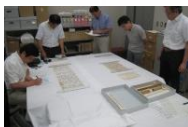
### 保存活用方針

- ・ 知る・学ぶ(調査・連携・教育)
- ・ 守る・高める(保存・管理・修復)
- ・ 活かす・広める(整備・情報発信・人材育成)

## 保存活用のための取り組み

### 韮山城跡総合調査の推進

戦国大名北条氏の拠点であり、堀や土塁などの遺構が良好な形で残っている韮山城跡について、将来的な国史跡指定を目指して、文献調査・発掘調査・地形測量・縄張調査等の総合調査を進めている。



### ボランティアガイドの育成

国宝運慶作諸仏を所蔵する願成就院や、重要文化財江川家住宅、史跡韮山反射炉など、市内の豊富な歴史文化資源について、来訪者にわかりやすく紹介するため、研修会等を通じて、ボランティアガイドの育成を図っている。



### 韮山反射炉ガイダンスセンター の設置

平成27年7月に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産として世界文化遺産に登録された史跡韮山反射炉に関する総合的なガイダンス施設として「韮山反射炉ガイダンスセンター」を整備し、平成28年12月にオープンした。



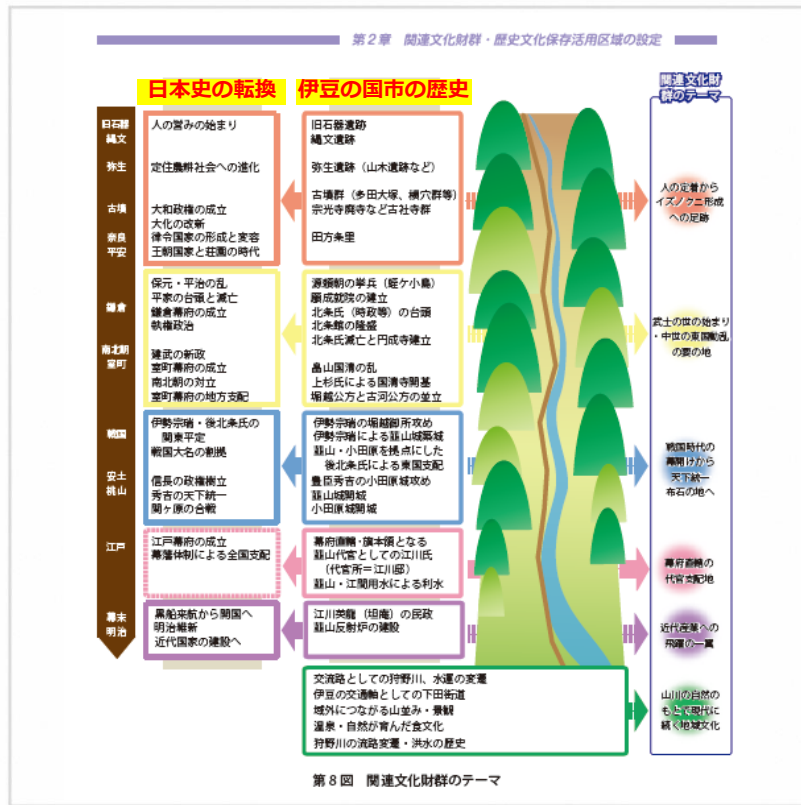
### 案内サインの整備

願成就院、重要文化財江川家住宅、史跡韮山反射炉など、来訪者が多数訪れる歴史文化資源に円滑にアクセスできるよう、案内サインの体系的な整備・充実に取り組んでいる。





# 関連文化財群



日本史上の転換期との関連に着目した「時代別テーマ」と、狩野川を軸とした自然環境に育まれた「時を超えるテーマ」に分けて、関連文化財群を設定した。

①人の定着からイズノクニ形成への足跡  
 ②武士の世のはじまり・中世東国動乱の要の地  
 ③戦国時代の幕開けから天下統一布石の地へ  
 ④幕府直轄の代官支配地  
 ⑤近代産業への飛躍の一翼  
 ⑥山川の自然のもとで現代につづく地域文化

## ストーリー

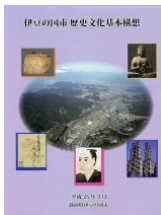
- ① 山木遺跡の農耕生活
- ② 古墳群や古寺社が伝える伊豆国成立
- ③ 源頼朝挙兵と鎌倉幕府成立
- ④ 鎌倉幕府執権北条氏の本拠地
- ⑤ 伊勢宗瑞(北条早雲)の堀越御所攻め
- ⑥ 豊臣秀吉の小田原攻めと韮山城
- ⑦ 韮山代官江川氏による地域支配
- ⑧ 江川英龍による韮山反射炉築造
- ⑨ 狩野川と下田街道がつなぐ人と物流
- ⑩ 伊豆長岡温泉と温泉文化



# 策定後の成果 (見込まれる効果)

## ① 文化財保存活用のマスタープラン

総合計画などの上位計画や、他の様々な計画と関連しつつ、歴史文化基本構想は、市の文化財行政を進めていく上でのマスタープランとして位置づけられた。このことにより、市内の歴史文化資源を計画的に保存活用していくための方針が定まった。また、市のHPで公開しており、市民が市内の歴史文化資源について知るための一助となっている。



## ② 韮山反射炉整備基本計画策定

史跡であり、世界文化遺産の構成資産となっている韮山反射炉について、管理保全の基本方針・方法を定めるとともに「明治日本の産業革命遺産」の顕著な普遍的価値に貢献する要素を保全するための法的・行政上の措置を示すことを目的として、平成29年7月に「韮山反射炉の保存・整備・活用に関する計画(史跡韮山反射炉整備基本計画)」が策定された。



## ③ 歴史的風致維持向上計画策定

歴史文化基本構想により、市内の歴史文化資源が関連文化財群として把握することができた。それを受けて、さらに歴史文化資源の保存・活用を推進するとともに、まちづくりに活かしていくため、平成30年度の認定を目指して、歴史まちづくり法に基づく「伊豆の国市歴史的風致維持向上計画」の策定を進めている。

